

熱海市は、将来都市像に「住むひとが誇りを訪れるひとに感動を誰もが輝く楽園都市 熱海」を掲げ、「住んでみたい」「訪れてみたい」、そしてそんな街に「投資をしたい」という「選択される街」を目指して、シティプロモーション活動に取り組んでいます。

『熱海NEWS LETTER』は、その活動の一環として、熱海の旬な情報をお伝えするために、定期的に発行しています。

右の写真は、P3・5でご紹介している「熱海海上花火大会」の様子です。



LINE UP

ラインナップ

S 【特集】「熱海のビーチは、ここがオススメ」・・・P2～3

いよいよ夏本番。駐車場から徒歩0分の海水浴場、夜は幻想的な姿を見せるライトアップされる砂浜、そして国内最大級の沈船が見られるダイビングスポットなど、熱海ビーチの夏と夜の魅力について特集しました。

熱海市内各地で開催される海上花火大会の日程もご紹介。

E 【イベント】「熱海に行くなら?」「今でしょ!!」・・・P4

◇国道に三十数基の山車と神輿が集結 “熱海こがし祭り 山車コンクール”

◇潮風を感じながら・・・ “あたまビール祭り”

◇大自然をロケーションに日本文化を体験 “MOA美術館 薪能”

A 【熱海のココスキ!!】「熱海海上花火大会の裏側に迫る」・・・P5

会社として50年、熱海海上花火大会の花火製作・設置をしている(株)イケブンの池谷社長に、今夏の新種花火や熱海のココスキ!!について伺いました。

夏が待ち遠しい、今日この頃。今回の特集は、熱海の海の魅力についてご紹介します。

昼も夜もビーチで楽しむ

今年の海水浴場開設期間は7月13日から9月1日までの51日間。市内には熱海サンビーチ(市内中央部)、長浜海水浴場(南熱海地区)、網代温泉海水浴場(南熱海地区)の3カ所存在。その中でビーチが魅せる昼と夜についてご紹介します。

長浜海水浴場は、駐車場から徒歩0分。隣接の駐車場は400台収容可能。車を停めたら、目前には真っ青な海と白い砂のビーチが広がり、気分はもうリゾート。駐車場から海まで、段差もほとんどないので、小さなお子様連れでも、ラクラク移動できるのも魅力。併設の“うみえーる長浜”では、海水浴場開設期間中、温水シャワーや更衣室はもちろん、オープンカフェや売店・フードコートなどの施設も充実。バナナボートも体験可能(有料)です。

夜、19時以降は花火広場で、涼みながらの花火もオススメ(花火の購入可)。もちろん、オープンカフェやフードコートも開設しているので、大人も子どもも楽しめます。

熱海サンビーチは、新幹線・東海道本線のJR熱海駅から徒歩圏内にあるので、首都圏からもアクセスのよいビーチ。毎年、海水浴場開設期間中には海水浴を楽しむ若者・カップル、そしてご家族連れでにぎわっています。静穏なビーチは赤ちゃんの水遊びにも最適。また、お宮緑地付近には世界三大花木“ジャカランダ並木の遊歩道”が本年6月より一部オープンになり、それ以外に海岸沿いにも遊歩道が整備されているので、海から昇る朝日や、夕暮れに異国情緒あふれるマリナーを眺めながらの散歩も、夏の涼しいひとときです。

夜になるとサンビーチは青く幻想的な砂浜に装いを変えます。東京駅舎や横浜ベイブリッジのライトアップを手掛けた、世界的な照明デザイナー石井幹子さんによるサンビーチのライトアップが夜19時から22時まで、毎日行われています。

毎月1回第2日曜日の9時30分から、熱海ビーチクラブと称して、サンビーチをキャンバスにしたビーチアート(大きな地上絵)やシャボンアートなど、広いビーチを活用した月替わりの大人も子どもも楽しめる体験プログラムを行っています。海水浴場開設期間中は、一時お休みしていますが、ぜひ機会があったら参加してみたいかがですか。



長浜海水浴場



ビーチアート



熱海サンビーチ



熱海サンビーチライトアップ

ダイビング&リゾートアイランド

熱海の海は伊豆半島随一のダイビングスポット。透明度も高く、美しく変化に富んだ熱海の海は、大小様々な魚や珍しい魚が見られます。特に熱海のダイビングポイントで有名なのは日本最大級の沈船ポイント。この船は 1986 年に沈んだ砂利運搬船「旭 16 号」。全長81m、5000トンの巨大な船体が、深度 20mから 30mの海底に二つに折れて沈んでいます。

また、静岡県内唯一の有人島「初島」は、熱海港から25分の「リゾートアイランド」。初島には、4 つのダイビングポイントがあり、そのどれもがビーチエントリー。ビーチエントリーとは、ボートに乗らず直接陸上から歩いて海に入る方法。船の乗船・帰船などの時間的制約を比較的受けないのがメリットで、より長くダイビングを楽しみたい人にはオススメ。

さらに、「初島」は、ゆっくり回っても1時間という島内周遊もオススメ。灯台から360°見渡すことができる海の風景も

最高。天気が良ければ世界文化遺産に登録が見込まれている富士山を望むことができます。もちろん、島内の食堂でイカ丼やアジのなめろうなど、海産物も最高です。



夏季 熱海花火大会

◆熱海海上花火大会 <熱海湾> 各日 20:20~20:50

7月20日(土)・28日(日)

8月5日(月)・8日(木)・20日(火)・25日(日)・31日(土)

◇初島花火大会 <初島>

7月21日(日) 20:00~20:15

◆伊豆湯河原温泉サンバカーニバル&花火大会 <泉公園>

7月27日(土) 19:00~21:00 *花火は20:20~

◇伊豆山温泉納涼海上花火大会 <伊豆山海岸>

8月3日(土) 20:20~20:50

◆網代温泉海上花火大会 <網代湾>

8月16日(金) 20:30~20:50

◇伊豆多賀海上花火大会 <多賀湾>

8月18日(日) 20:20~20:40



伊豆山温泉納涼海上花火大会



手筒花火(泉公園)

見

装飾・木彫り山車、神輿が集結
「熱海こがし祭り 山車コンクール」

7月15日(月祝)・16日(火) 18:30~



熱海こがし祭り山車コンクール

熱海こがし祭り山車コンクールは、国指定天然記念物「大楠」のある来宮神社例大祭の一環として、行われ、今年で45回目。

豪華絢爛な木彫り・装飾の山車、神輿30数基が国道135号線を埋め尽くす。審査会場のお宮緑地付近では、お囃子や山車の上でのパフォーマンス合戦でさらに盛り上がる。

◆お問合せ 熱海市観光協会 TEL 0557-85-2222

食

潮風を感じながら・・・
「あたまビール祭り」

8月1日(木)～4(日) 17:00～21:00

暑い夏は、冷たいビールが最高!!
熱海サンビーチのすぐ横、親水公園では、期間中ビールやソフトドリンク、多彩なおつまみがワンコイン(500円)で楽しめる。

会場内に設置されているステージでは、バンド演奏など様々な催しものが繰り広げられる。節電気分ですさしのぎに、足を運んでみては。



イメージ

◆お問合せ あたまビール祭り実行委員会 TEL 0557-81-2059

食

食べて満足!!
伊豆山温泉さざえ祭り&花火大会

8月21日(水)・22(木) 18:00～21:30

伊豆山海岸すぐそばの特設会場では、特産のさざえと花火が両方楽しめる夏満喫のイベントを開催。

楽しいステージイベントも繰り広げられる。



◆お問合せ 伊豆山温泉観光協会 TEL 0557-81-2631

見

過ぎ行く夏・・・
ふるさと祭り・送り火・流灯祭

●網代温泉ふるさと祭り

日時：8月14日(水)～15日(木)
18:30～21:00

会場：大縄公園(網代駅徒歩5分)

◆お問合せ 網代温泉観光協会 TEL 0557-68-0136



●伊豆多賀温泉流灯祭

日時：8月16日(金)19:30～

会場：多賀湾

(伊豆多賀駅徒歩10分)

◆お問合せ 多賀観光協会 TEL 0557-67-2255



●百八体かがり火

日時：8月18日(日)20:00～

会場：多賀湾

(伊豆多賀駅徒歩10分)

◆お問合せ 多賀観光協会 TEL 0557-67-2255



見

幻想的なかがり火と相模湾を背景に
MOA美術館 「薪能」

8月1日(木)・2(金) 18:00～20:30

熱海の夏の風物詩として定着しはじめているMOA美術館薪能。大自然の雄大なロケーションを生かした舞台上で能・狂言が演じられる。



●8/1 能 観世流、狂言 和泉流

●8/2 能 宝生流、狂言 大蔵流

料金：無料 ※雨天中止

申込み：希望日・郵便番号住所・氏名・TEL・人数を記入し、返信切手を同封の上、郵送。

定員：各日、2000名 先着順

◆詳細・申込み MOA美術館薪能事務局 TEL 0557-84-2511
〒413-8511 熱海市桃山町26-2

まだまだ、ある。イベントカレンダー

7月

6・7日 ながはま特設市(長浜海浜公園)

14日 ケイキフラフェスティバル(長浜海浜公園)

21日 マリンフェスタ・アタミ 2013

(親水公園・熱海港 7.5 岸壁)

21日 網代ベイフェスティバル(網代港埋立地)

27日 伊豆湯河原温泉サンパカニバル(泉公園)

8月

16～18日 長浜ビル&花火フェスティバル

(長浜海水浴場)

9月

7・8日 アタミアロハフェスティバル 2013(親水公園)

◆お問合せ 熱海市観光協会 TEL 0557-85-2222

ー 熱海海上花火大会の、花火製作・打ち上げに長年携わっていらっしゃる(株)イケブンの池谷社長にお話を伺います。

池谷社長が、花火や熱海に関わるようになったのは、いつからですか。

池谷 家業が花火屋でしたので自然に父（現会長）の後を継ぎました。私で五代目になります。会社としては五十数年にわたり、熱海の花火大会に関わっておりまして、私自身は20年ぐらいになります。若い頃から熱海に営業に来ては、関係者の皆様にはお世話になっております。

ー 約20年熱海に関わっていらっしゃるとのことですが、熱海の“ココスキ”というようにありましたら教えてください。

池谷 海やビーチがきれいなので、ついつい来たくなる街ですね。干物が好きで熱海に来ると、よく買って帰ります。特にトロアジっていうのがおいしくて大好物です。

ー もうすぐ夏季の花火大会がはじまりますが、準備期間はどのくらいかかるのですか？

池谷 花火の製作自体はその年の打ち上げ（8月）が終わると、すぐに翌年の準備が始まります。花火の玉を作るだけでも、中につめる星（ホシ）と呼ばれる花火の色が決まる火薬を作ったり、星を並べて詰めたり、様々な工程があります。今でも大半が手作りですから、手間や時間がかかります。当日の準備にしても、午後8時20分から始まる打ち上げに向けて、花火の筒や玉の設置、配線など、朝の8時から始まり午後5時くらいまでに終わらせるように、数十人で段取り良く行います。あまり知られていないのですが、花火の導火線は1秒で100m進む材質のものや、0.7秒で1cm進む材質のものなどがあって、材質や長さを変えて配線することによって、同時に点火しても時差ができるようになっています。とにかく、扱っているものが火薬なので、事故がおきないように、非常に神経を使う仕事です。



池谷 光晴 さん
(株)イケブン代表取締役社長
熱海花火歴 20年



打ち上げ場所で10号玉を打ち上げの筒にいれる様子

ー お仕事柄、いろいろな花火大会に携わっていらっしゃると思いますが、他の花火大会にはない熱海海上花火大会の良さというのがありますか？

池谷 なんととっても、打ち上げの最後を飾る圧巻の大空中ナイヤガラと、三方を山に囲まれ、まるでステージの中央のような海上で打ち上げるという、独特の地形からくる音響効果と臨場感は熱海ならではのです。

花火大会中盤で登場する上空に浮遊する不思議な花火も好評です。熱海の花火大会は年間20回行われるので、四季を通して楽しむのも魅力です。夏もいいですけど、特に冬の澄んだ空気の中で上がる玉はきれいですよ。

ー そうですね。大空中ナイヤガラのときは、観客席が感嘆の声と大きな拍手に包まれますね。

最後に、今夏ならではのオススメがありましたら教えてください。

池谷 夏は1晩で5000発の花火を打ち上げます。新たな種類として、レモンイエローのパステルカラー色を加え、さらにイルミネーションのように光の動きの変化を取り入れた玉を考えています。

ぜひ、ご注目いただければと思います。